

大阪府消防操法大会に向け訓練中！

7月3日夜取材（U）



大阪狭山市消防団では9月6日に行われる大会にむけ5月上旬から毎週（月・水・金）の夜に、みず未来センターを利用してポンプ操法の訓練を実施している。

この夜も消防団員とこれを指導する消防署職員あわせて総勢50名ほどのメンバーがきびきびした動きで訓練にはげんでいました。訓練の内容は3本のホースを連続して連結しながら目標物の消火を行うもので一連の手順を正確に敏速に行わなければならない。今晚の訓練では目

標の時間45秒以下に対して51秒でありまだ不十分な結果で、さらに錬度を上げる必要があるとの指導側職員のコメントである。

大阪狭山市消防団は団長以下副団長3名と東野・東池尻・池尻・狭山・半田・茱萸木・大野・今熊・岩室・山本・女性分団がありこの中から8名の選抜チームが南河内代表チームとして大会に向け錬度を高める訓練に励んでいる。

消防団とは、本業を持ちながら、地域の中核的存在として「市民が一生安心して安全に暮らせるまちづくり」のため、消防・防災に関する知識や技術を習得して、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助救出活動、警戒巡視、避難誘導災害防御活動などがある。（消防団の組織から引用）



近年、就労構造の変化、少子高齢化社会の到来、国民意識の変容等、社会環境の変化に伴い、消防団を取り巻く環境も大きく変化し団員確保等の課題があります。地域防災力の低下が懸念されるところですが、しかし、最も重要なことは市民の皆様一人ひとりが「自分達のまちは自分達で守る」という意識を持つ事が大事なことです。

今回こんな活動があるよと紹介してくれたYさんも団員として35年のキャリアのベテランで大会には大阪

狭山市も2度、大会で優勝の経験の持ち主である。団員としての活動に興味のある方は消防本部・消防署へ問合せください。